

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について 市民説明会
日時	平成 27 年 9 月 1 日（火） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 15 分
会場	中野市立倭小学校体育館
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 58 人・教育委員会出席者 11 人 教育委員 5 人、教育委員会事務局 6 人・報道機関 0 人
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 基本方針（案）について4 質疑5 閉会
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

- 1 開会 進行：教育次長
- 2 あいさつ 教育委員長
- 3 基本方針（案）について 学校教育課長から資料に基づき説明
- 4 質疑

意見

- 適正規模・適正配置の基本的な考え方で、デメリットの記載がないが、検討した結果、メリットがデメリットを上回るという結論でしょうか。

回答

- この適正規模については、統合して学級の人数が増えた場合、単純に1人の先生が何人の子どもをみるのか、それによって先生方の負担はどうか、子どもに目が届かなくなるのかなど検討してきました。現在は、学習で遅れがちであったり、支援が必要であるお子さんがいた場合には、各学校から毎年要望を聞いて、市の支援員を配置し、そのような問題に対応しています。

意見

- それは学校の教育現場の話です。適正規模にしたことによって、地域から小学校がなくなってしまう。そのような事に対して、地域に対する影響は検討されたのですか。

回答

- 学校が無くなると地域がさびれたり、活性化が無くなってしまうというご心配を質問されたと思いますが、それぞれの地区にある校舎を、今後どう活性化に結び付けていくかは、地域の皆様、また市の行政全体で考えていくことが大事になってくると思います。

意見

- 小学校の校舎は残りますが、小学校は無くなります。それについて聞いています。

回答

- この倭小学校の場合ですが、現在コミュニティスクールで沢山の方が係ってくださり、地域の子どもと共に活動してくださっていますが、もし統合となった場合には、各学校のコーディネーターと運営協議会の会長さんあたりがしっかりとすり合わせをして、それぞれの地域の子供に、今までの先人の知恵などを学ばせる仕組みを考えていただく必要があると思います。例えば、土曜、日曜とか休みの日に地域に戻って、それぞれコミ

ユニティスクールの一環として地域で活動して頂くという事が大事になるという事も検討してきております。

意見

- 各学校で色々な意見が出ていると思いますが、まだ案であって決定ではないということを知っていますが、最終的にどのような形で決定としていくのでしょうか。11月までに基本方針決定と7ページに書いてありますので、どんな形を出していくのか教えて頂きたい。

回答

- 説明会を、市内11小学校すべて回りますが、そこで頂いた意見も参考にしながら、基本方針（案）を再度検討していきます。このような形でまとめたという事を、回覧やホームページなどで皆様にお知らせし、そこでまたご意見を頂きながら、最終的に決定していきたいと考えています。今回の基本方針はあくまでも（案）であり、特に大きな支障もなく順調にこのとおりにまとまった場合を想定して、11月が最終となっていますので、場合によっては、後ろにずれる、或いは若干期限が前後する場合があります。

意見

- 長丘、平岡、科野、倭、を統合して、学校を平岡に置くということになっていますが、この平岡に置く意味はなんですか。

回答

- 例えば長丘小の校舎が新しいじゃないかなど色々議論しましたが、距離のことなど総合的に判断し、統合した場合には平岡小の場所が一番いいという判断をさせていただきました。

意見

- 一番いいという判断であるとのことですが、例えば平岡小の道は意外に狭く、今後はいろいろな地域から人が集まってくることを考えると、やはり狭すぎます。豊田中もゆくゆくは高社中と一緒にしたいというような事も書かれていますので、新たな敷地を設けて校舎を造った方が合理的ではないかと思います。

回答

- 今回はあくまでも現在の資源を生かすということで考えています。

意見

- 今ある校舎を使えというのは、乱暴な意見のように聞き取れます。豊田にも新しい校舎を設けてくれとか、他でも現状の校舎を使うのではなくて、中学校の側に新しい小学

校を造りましょうという話も出ているのですが、倭の辺の小学校の場合は、平岡があるからそこでいいんじゃないかというようにしか聞こえません。

回答

- 教育にお金は関係ないという方もいらっしゃいますが、現在、市の財政や庁舎関係などの問題もあり、できるだけ使えるものは使っていこうというスタンスで検討しています。豊田の関係については、これから豊田の方で説明会をやるので、そこでご意見を聞きたいと思います。

意見

- 慎重に審議したうえでの判断だとは思いますが、小学校で1学年2学級以上という適正規模になっていますが、1学級ではどうかという検討はされたのでしょうか。また、平岡と合併するという観点でなく、長丘、科野、倭の合併という考えはなかったのでしょうか。
- スクールバスの件ですが、当然この倭地区は、スクールバスが必要な距離ではないかと思われます。他の地区も、平岡以外の場所であれば必要であると思われます。そういった中で、予算的にどのくらいになるか、その費用はどのように捻出するのか、スクールバスの朝の出発時間は決まっていると思いますが、帰りになるとバラバラになるのではないか、というような検討はしたのでしょうか。

回答

- はじめに、スクールバスの関係ですが、放課後児童クラブを利用している子ども達が、市内各地で一杯になってきています。共働きの保護者の皆さんが多い中、学校の日課だけを踏まえて、何時に出発という訳にもいきません。放課後児童の関係部署とも連絡を取り合い、保護者方のお仕事ができるように考えていかなければいけないという現状があります。スクールバスのルートについては、まだ細かいところまで決まっていますが、きめ細かく走らせなければいけないとは思っています。特に冬場や危険な所、大型のトラックが頻繁に通る道路などがあり、交通安全には十分注意して欲しいというような要望もありますので、市の他の部署や、県や国の方とも連携をとって、努力していきたいと思っています。
- 1学級について検討したかという話については、当然検討してきています。審議会からは、このような背景で2学級が良いという根拠も示して頂いております。また、1学年1学級の子供たちの現状はどうか、この子供たちはどのようなメリットやデメリットが生じるのか、1学級1桁の人数ではどうかなど、細かく検討してきています。

意見

- 先ほどの説明ですと、放課後児童クラブは教育委員会の観点ではない様なお話しでしたが、当然児童クラブの人数も多くなることが予想され、その面も含めてスクールバスの運行という感じのニュアンスに聞こえたのですがどうでしょうか。

回答

- 教育委員会の管轄ではないという意味で申した訳ではありません。教育委員会で全部何時から何時まで放課後児童クラブをやってください、スクールバスは何時に出発します、など、そこまでは出来ないので、先程申したように、放課後児童クラブの関係部署がありますから、そこと十分相談してやっていかなければいけない部分であります。

意見

- 先ほど聞いたのですが、スクールバスの予算はどれ位で、どこからお金を持ってくるのですか。

回答

- スクールバス等々の費用につきましては、現在走らせているスクールバスをもとに積算したのと、あと費用の捻出については、統合となった場合、維持管理料がその分が浮いてくるとか、国からの交付金はどうなのかなど考えて、厳しい中でもやりくりはできるのではないかという判断です。具体的に何十何万という計算はしていません。

意見

- 要望になりますが、スクールバスについては市の予算の関係もありますが、この辺の地区となると、どこへ迎えに行くとかあるので、きめ細かく検討してください。

回答

- もし統合で平岡となった場合は、1ルートでまかなえる場合、2ルートになる場合等色々ありますので、細かく検討したいと思います。

意見

- 児童クラブは、学校の近くに置くのではないかと思いますのですが、倭に児童クラブを置くといった検討はしていただけるのですか。

回答

- もし統合となった場合、残った倭小学校を児童クラブに活用するという方法もありますので、地域の皆さんのご要望も聞きながら、関係部署と連携して対応していきたいと考えています。

意見

- ほぼ統合ありきのようなお話で物事が進んでいます。はじめにご質問された方のように地域の文化伝統がなくなると困るという大先輩が沢山いらっしゃいます。その中で、これを拒否することはできるのか、また、例えば倭だけ統合したくないというのが通用するのか。他の長丘さん、科野さんは統合しますとなくなっても、俺らは俺らでといった時には拒否することができるのでしょうか。

回答

- まさに色々なご意見があり、統合はしない方がいいというご意見も十分承知していますが、市を全部回りまして総合的に判断させて頂きたい。じゃあ全員反対だから、倭小1つだけ残すということは、子どもの事を考えると、かなり困難であると思います。審議会でも約2年間約20回近くに渡って検討しております。教育委員会でも議してきました。倭の子どもだけでなく科野、長丘、平岡の子どものを考えた場合、やはりここで示した方法が一番良いだろうという結論に至っています。

意見

- 審議会では識者の方が集まって相当議論されて答申書を作られています。審議会の方は地域に出て地域の皆さんから意見をお聞きになったのでしょうか。地域の意見は大切でありますので、この説明会を聞いた後、地域の皆さんが地域の中で話し合い、これでいこうと合意を得て、倭地区ではこのような意見になりましたというのを市や教育委員会に伝え、それを聞いた上で基本方針を決めるのが本来ではないかと思えます。説明会に来た人だけの意見を倭の意見だとするのは問題があります。これから区長会などが中心となって、地域振興や地域おこしも考えた中で、小学校の位置づけをはっきりさせて、倭地区の意見を聞いた上で基本方針の決定をしてください。

回答

- 今日全員の方が来られているわけではありませんので、現在ホームページなどで意見を募集していますので、そちらに書いていただければと思います。今後の進め方は、ご意見をいただきましたので、参考にさせていただきます。

意見

- バスの件ですが、現在中学校では、遠距離通学をしている子どもたちの利用者負担がある地域があります。小学校も利用者の負担が発生するのでしょうか。発生するとなると、学校から遠くに住んでいるということで保護者の負担も増え、この地域にはいられないとか学校の近くに引越したいというようになり、さらに地域の過疎化が進んでまいりますので、費用的なものも考慮して欲しい。

回答

- スクールバス利用者の負担はありません。スクールバスの対象児童は、原則として概ね4キロ以上という事で対応しています。

意見

- 中学校では、田上は補助が出ていて、柳沢は補助がなく自転車が認められている。例えばこの地域は小学校統合になると当然スクールバスが必要になってくると思うが、中学校も小学校にあわせてバスの検討をしていただけないでしょうか。

回答

- 遠距離通学の基準は文部科学省で取扱っております。中学校のバスの件については、予算のからみもあり今お返事できませんが、参考にさせていただきます。

意見

- 小学校が4校から1校に統合された場合、先生は何人から何人まで減るのでしょうか。

回答

- 教職員の数というのは学級数に応じて決まっています。学級数が増えますと当然教職員の数も増えます。また、学級数が増えれば、音楽、理科、家庭科など教科を専門的に見る専科教諭が増えてきます。また、中学でいえば南宮中学校位の規模になりますと、生徒指導を専門とする先生が配置されるようになります。

意見

- それでは先生の数が増えて、今より充実するということになるのでしょうか。

回答

- 先生数は増えます。その他に市費の支援員が教室に入ることもあります。現在も多くの支援員が学校に配置されています。

意見

- 学校というのは地域社会全般に係る問題なので、真剣な思いから今日皆さん集まっています。そういう意味では、教育委員会の説明を受けるだけではなく、市全体としてこのようにしていきたいんだという市トータルの方針を聞けると思って来たのですが、教育委員会、教育の現場の話が多く、学校がなくなるということが地域社会にとって或いは市民にとってどのような影響を及ぼすのかということについて、あまり説明なされないのは残念に思います。審議会の中ではそのような問題が沢山出たと思います。先程から審議会で出た答申を例にあげて色々な答弁をなさっていますが、私は実は審議会の委員で二十数回議論を、非公式を含めれば数十回議論を重ねてきました。その出された答申の中で一番大事なのは1クラスである、2クラスであるとか25人、30人ということではなくて、答申の留意点の1つですが、適正規模適正配置の実現に向けた推進においては関係する学校と地域の伝統と歴史、地域住民の意見や心情、既存の学校施設の状況や通学路を十分に考慮し、丁寧に時間をかけて計画を策定することが重要であると書かれています。このところが審議会の中で一番大事な事として議論した内容でした。それが今回これを踏まえた提案になっているのか疑問であり、あまりに拙速で安易であるという感覚を抱かざるを得ません。さらに、今回の説明会のあり方は、皆様方が書かれた基本方針（案）を理解していないのではないかと思います。1頁目について、地域住民と十分な理解と協議を行いながら進めると書いてありますが、地域住民とどう協議を行うのかまだ考えられていない。学校が無くなるという事は、地域全体で考えていか

なければならない問題で学校を統合するにしても、あるいは維持するにしてもこれからどうしていけば良いかを地域全体で話しあって決めなければいけないことだと思います。それを踏まえて方針（案）では地域住民と協議を行いながら決めていくと書いてありますので、ぜひ考えて頂きたい。今回のパブリックコメントの受付が10月迄となっていて基本方針決定が11月となっているのはあまりに拙速ではないか、これが本当にパブリックコメントや説明会の意見を含めて、基本方針を検討し、十分な協議をするようになっているのかも一度考えて頂きたい。市としても過疎化地域の対策に心を配っていますが、地域活性化を考えた時に学校がなくなることが地域にどのような影響を及ぼすかについてきちんと検討してもらいたい。審議会の中では、地域と学校が疎遠になってしまう、通学がスクールバス利用で長くなってしまふと子供達に危険はないか、など色々な懸念が出ています。PTAに行ったアンケートでも意見が沢山寄せられていますが、その意見が今後の課題と言われたのでは、この説明会の意味がない、そこまで詰めて考えた、これでどうだと私たちに提示してもらい初めて賛成か反対かが出るのもあってそれも無しに、賛成か反対、10月のパブリックコメント終了までに統合しろというのは、審議会が出した十分時間をかけて進めるといふ答申主旨にも反すると思います

回答

- 答申の内容については、しっかりと読み合わせて要検討いたしました。地域の歴史、伝統、財産、その継承など、十分議したつもりではありますが、不十分だといえ、ご指摘を踏まえて、十分検討していきたいと思ふます。スケジュールについては、協議する時間が足りないという地域もあろうかと思ふますので、それぞれ仕組みを考えていただきながら、協力して進めたいと思ふますが、そうなるとスケジュールがずれてくるというのも当然ありうる話でございます。

意見

- 基本方針にある「地域住民の十分な理解と協議を行い」とは、どんな方法をイメージしていたんですか。

回答

- 例へば、PTAの方から説明にきてくれとか、地域の皆さんの方で、このように区毎で検討してその結果がこうである、どう考えるのかということでも意見をお聞かせ頂いたりというふうなイメージです。

意見

- 住民の協議を行うと書いてあるのに、説明をする、或いは意見を聞くというふうにお置き換えられている気がします。協議を行うという方針通りにやって頂きたいというのが私の意見です。

回答

- 協議はやります。但し、地域の皆さんの声を聞きながらということをつけ加えさせて頂きます。声が無ければやらないということではありません。

意見

- 基本方針の一番最初に、適正規模が教育の質を上げると書いてありますが、財源を考えると適正規模は良く理解できます。しかし、教育の質を上げるという事では、この方針が本当に適正規模なのか疑問です。教育の質を上げるという事は、地域を含めて子供の減少とか過疎化に対応し、どのような教育をしていくのか、しっかりと議論しなければ次のステップに進むべきではないと思います。皆さんそういう所を一生懸命言っておられるのですが、検討が不十分だったかもしれないといういい加減な返事をされていて、このままだと失敗すると思います。

回答

- 今回の基本方針案をこの場ですぐ理解して結論を出すというのは当然無理な話ですので、地域の中で協議し検討していただき、わからないことがあったら説明させていただいたり、ご意見を聞いてまいります。

意見

- それでは、今日の質問を受けていつ頃第2次案を出し、どういう議論を経て決定になるのですか。

回答

- 審議会での方針を踏まえて今回基本方針案をお示ししましたが、あくまでも案であり、皆さんのご意見や地域の要望等集約し、検討していきたいと思います。第2案や第3案ということではなく、今回お示し案をたたき台として、皆様のご意見を聞きながら進めていきたいと思います。

意見

- 今日の説明で十分検討することが多々あったかと思いますが、第2次案を作るつもりはないということですか。

回答

- 今後この案が変わることは考えられます。

意見

- その案でまた説明会があるということですか。

回答

- 説明会の方法も検討しなければいけません、そのような意見があればやる予定はします。

意見

- 倭では以前から「やまとじゅく」というのをやっており、準備委員会も1年、2年あり、今年4月からはコミュニティスクールが発足し、色々な地域の人たちと学校と子供たちが一緒になって活動をしています。今度4つの学校が1つになった場合、コミュニティスクールはどうなるのでしょうか。

回答

- 統合ということを前提にした場合、それぞれの学校のコーディネーターの方、コミュニティスクール運営協議会の会長さんなどにまず集まって頂き、擦り合わせをします。広範囲になった時のコミュニティ、地区毎のコミュニティ、土曜、日曜あるいは長休中を利用した活動など、子供たちとどう係っていただけるか相談していただきたいと思います。

意見

- コミュニティスクールの会長さんやコーディネーターの方々とかが集まって広域的に何ができるのかその検討をして、その結果を我々の中に落としてもらえるのでしょうか。

回答

- 広範囲では何が出来るか、各地域ではどうなのか、当然考えて頂くようになると思います、その中で、教育委員会として支援できることも考えていきます。

意見

- 今たちあげているコミュニティスクールでの活動は、このままやっていってもいいわけですか。

回答

- 教育委員会としても大事にしたいと思っています。

意見

- 地域から学校が無くなるというのがとてもマイナスなイメージになってしまいます。出来れば新しい学校を造って頂き、この学校は小中一貫教育が充実しているということで、よそから人が入ってくるかもしれないという改革をして頂き、新庁舎建築の予算を子ども達の為に小学校4校建てて頂ければいいと思います。

意見

○ このスケジュールの案の7ページを見ましたら、ちょうど私の長男が平成30年度で6年生になり、順番でいけば統合開校になる予定です。今3年生で8人ですが、いきなり3年後にポンと4校に集まられてしまった子供達はどうなるのか、凄く心配な面があります。このスケジュール通りに行くのであれば、28年、29年の予備期間としている2年間のうちに、他校の生徒たちと倭小学校の生徒たちが交流できるような場を幾つか設けて頂けるとありがたいです。統合になった場合でも、あの時に会ったねとかそういう話から上手くクラスとして成り立っていくのではないかと思いますので、今から4校で交流を持てるような機会をぜひ沢山作って頂きたいなと思っています。

回答

○ 現在倭小と科野小学校ではご承知のとおり1年から5年までは社会見学など一緒に行ったり、6年生は長丘小と博物館見学に行ったというような話も聞いています。これは統合の話であってもなくても子供たちの交流というものは、とても大事だと思います。校長先生や教頭先生にも、年間行事の中で交流を深めていく行事を増やしてほしいという事はお願いしていこうと思います。

意見

○ 30年度に統合になった場合、3年生の子どもたちが第1期生になる訳で、それと同時にPTA会長のような役員の方の面も順次4校の保護者の代表が集まってやるのかははっきり解りませんが、そういった部分も学校の先生方にお任せしてしまうと、先生達も地区ごとに色々な意見もありますので、ぜひ教育委員会の皆さんにカバーして頂けるといいと思います。私自身ももしかしたらこの時に統合第1期目になるかもしれませんので、そういった面も含めて是非うまく持って行ってもらいたいと思います。

回答

○ PTAの組織については、それぞれのPTAの会長さんをはじめ、役員の方にも集まってもらい、どのような組織や機能を設けるかを考え、新しい規約をつくらなければならないと思います。これは教育委員会から学校へ一方的にということではございません。PTAはPTAとして主体的な組織ですが、その中には担当の教職員も入りますので、色々お手伝いはさせていただき、教育委員会でも連携していきたいと思っています。

意見

○ 先程広範なコミュニティが学校を支えることとして大事であるとおっしゃいましたがその通りだと思います。先程の住民と協議をして決めていった方が良いという話と関係するのですが、審議会の中で他の自治体の聞き取りも行いました。木島平は、地域住民の協議にリードされる形で小学校を統合しました。それが、あまり問題を起さず統合できたという理由だということで木島平の小中学校の校長先生は話しておられました。

そういう意味では、地域住民の協議に主導される形で統合を考えていくという筋道を是非とも考えていただきたいと思います。

- コミュニティスクールというのは、単なる関係者だけの協議ではなくて、地域全体の学校への愛着の問題なので、例えば統合するとすれば、科野も倭も長丘もみんな自分たちの地域を担っていくという意識を地域全体で醸成しながら進めていかなければならないだろう、木島平はそういうプロセスを踏んでうまくいった。そういう意味で10月パブコメ、聞き取り、11月決定というのは論外なスケジュールだと思うので、これは本当に根本から考え直してもらいたい。計画（案）の中で小中一貫校の話が出ていますが、審議会の中では小中一貫校について議論は一言もしていません。いきなり出てきたというのは教育委員会の中でどれだけ議論を重ねたのかそれが疑問でぜひ聞きたいと思います。全国的にみると、小中一貫校というのは地域からの小学校をなくす口実として使われているのがほとんどで、あまり議論の準備もなく進められている例が大半です。ほとんど失敗しています。しかも中身について例えば信濃町が小中一貫にしましたが、6、3制を見直す傾向を踏まえた上で実施しています。ところが中野市の場合は校舎分離型一貫校とか校舎一体型一貫校とか方針的に繋げただけで、中身を検討した形跡が全く見られない。小学校を再編するための口実としての小中一貫校はやめて頂きたい。もしこういう方針を出してしまうと、その方針が一人歩きするので、豊田中学校の問題とか様々な弊害を今後生むだろうと思いますので、そこは十分検討して頂きたい。

回答

- スケジュールについては、これに縛られないという表現でお願いしたいと思います。小中一貫校については色々検討してきました。信濃の小中、野沢温泉村、木島平村の小中一貫についてもしっかり研究はしたつもりです。ただ、小中一貫校で全て100パーセントプラスであるということは考えておりません。マイナス面もごさいます。しかし、この北部地区の各学校の実績を振りかえった時、ふるさとに直結した学習を非常に大事に扱ってらっしゃる、こういうことが念頭にありまして、小学校から中学校に繋げていって欲しいといった所から話が進んだ経緯がごさいます。

意見

- 熱い思いはわかりますが、ただ十分な検討が足りないという事です。十分な検討をしたのでこうやったらどうかと、という協議を住民と地域の人と一緒にやりながら進めて頂きたい。今までの説明では、まだこれから考えていかなければならない事が沢山あると思います。そういうのを考え、提起しながら進めて頂きたい。基本方針に書いてあるスケジュールだと、どう考えても見切発車だと思います。

意見

- 統合の話が出てから、保護者の方に1度アンケートを回答する期間があったと思うのですが、それ以外に今日の会議までそのような機会が一度もありませんでした。そうい

う中でこのような形になっているのということに、ちょっと危惧を感じています。先程から話が出ていますが、地域の方や保護者の方が話ができるという機会をどのように設定するか、ここできちんと決めて頂ければこの場はとりあえず落ち着くのではないでしょうか。

回答

- 協議の場を設ける予定にしています。その日程、方法、どなたと打合せをすればいいかを含め、検討させていただきます。

意見

- このような要望は倭地区だけに限らず、市内のどこの学校でも住民の方は持っていると思います。そういう場を設けて進めていかないと上手くいかないだろうと考えておりますのでよろしくをお願いします。

意見

- 最終的に基本方針（案）は、何をもって決定するのでしょうか。

回答

- 9月30日まで各市内の小学校を回りますので、そこでいただいた意見と、パブリックコメントでの意見を総合的に判断した上で、最終的にこのように決めさせて頂きたいということを再度お示しし、決めていきたいということです。

意見

- 11月に決定ということですが、9月30日までこのような説明会をやるとなると、11月までは残り2カ月。この間では多分無理じゃないかと思います。この計画自体が。かなり皆さんのような気がしますので、これを十分配慮していただきたいと思います。

5 閉会 (PM8:15)